

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年04月21日

計画の名称	地域固有の歴史的景観と魅力を活かしたまちづくり												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	竹田市												
計画の目標	『地域の個性豊かで歴史ある街なみ景観を活かすために、散策路や案内板整備等の街なみ環境整備を行い、観光客・住民が集い、交流する「歩いて楽しい」まちづくりを目指す。』												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	376	A	346	B	0	C	30	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	7.97	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2		R6
1	居住者と観光客の共存を図るための街なみ及び住環境整備による居住者の整備等に対する満足度 居住者の整備等に対する満足度(ポイント:5点=満足、4点=やや満足、3点=普通、2点=やや不満、1点=不満として各地区の平均を算定) (街なみ・住環境満足度) = (個別回答満足度計 × 地区数) / (全地区アンケート回答数)	3ポイント	ポイント	4ポイント
2	街なみ整備地区の活用率向上 街なみ整備地区のイベント開催数を通した街なみ活用率 (活用率) = (全地区の年間イベント回数の平均 / 従前の全地区年間イベント回数の平均) (%)	0%	%	15%
3	地区内の観光客・交流人口の自然減少の抑制 地区内の観光客・交流人口の自然減少の抑制 (観光客・交流人口数) = (最終年度の観光動態調査に基づく観光客・交流人口数を現況値と比較して維持させるものとする)	360408人	人	360408人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	竹田市	直接	竹田市	-	-	竹田地区街なみ環境整備 事業	道路美装化	竹田市/竹田地区						55	11.2	-	
	A16-002	住宅	一般	竹田市	間接	竹田市	-	-	竹田地区街なみ環境整備 事業	修景助成、歴史的風致形成建 造物整備	竹田市/竹田地区						110	11.2	-	
	A16-003	住宅	一般	竹田市	直接	竹田市	-	-	長湯地区街なみ環境整備 事業	道路美装化、街路灯、案内板 、公共施設の修景	竹田市/長湯地区						141	3.0	-	
	A16-004	住宅	一般	竹田市	間接	竹田市	-	-	長湯地区街なみ環境整備 事業	修景助成	竹田市/長湯地区						40	3.0	-	
												小計						346		
												合計						346		



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市民アンケート調査（市内在住の18歳以上の方から400名を無作為抽出） 回収率48.3%	令和6年9月から令和7年3月
	公表の方法
	竹田市公式ページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【指標1（居住者の整備等に関する満足度）】 修景事業、道路美装化により、街並み景観に対する満足度は高くなっている。</p> <p>【指標2（地区の活用率向上）】 通りを活用したイベントが開催されるようになった。</p> <p>【指標3（地区内観光客・交流人口数）】 コロナ禍は目標値を大幅に下回ったが、徐々に回復してきており「歩いて楽しい」まちづくりにつながっている。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>【効果の持続を図る事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風情ある街並みの保全促進</li> <li>・ 空き家、空き店舗の更なる発生抑制</li> <li>・ 人の流れ創出のための駅前広場の整備</li> </ul> <p>【改善する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風情ある街並みの活用促進</li> <li>・ 回遊性の増進に向けた案内誘導の充実</li> </ul>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	居住者の整備等に対する満足度		
	最終目標値	4ポイント	地区の景観（建物や道路）への満足度は高くなっているものの、地区の活性化（コミュニティの醸成）への満足度が低くなっている。空き家や空き店舗の増加によるコミュニティの希薄化が理由として考えられる。
	最終実績値	3ポイント	
2	地区の活用率向上		
	最終目標値	15%	通りや交流拠点を活用した新たなイベントが民間主体で開催されるようになった。
	最終実績値	33%	
3	地区内観光客・交流人口数		
	最終目標値	360408人	公共施設の整備期間やコロナ禍が重なり計画期間の前半は観光客数が大幅に減少したことが理由として考えられる。近年、回復傾向にあるものの期間内での目標値達成は困難な状況となった。
	最終実績値	357354人	